



かもめ

NO.46 R6.11.19

木工遊び! かなづちトントン



！学期から継続して取り組んできた木工遊び！道具の使い方、力の加減など、どんどんコツもつかんで取り組むようになってきました。

木工遊びでは

- ・様々な木材を使い、自分なりにイメージを広げつくる楽しさを味わう。
- ・道具の扱い方を知り、安全に遊ぶ。

のねらいのもと、活動に取り組んできましたよ。

釘打ちが楽しい！とひたすらトントンしていたところから、徐々に木片を組み合わせ、見立てたり、イメージしたものをつくろうとしようとする姿が増えてきました。様々な形の木片もお家の皆さんの協力で日々集まり、「お！これ、いいねえ！」と見つけたものから、イメージが広がる姿も見られましたよ。

様々な木片(大きいもの、長いもの、厚みのあるもの、薄いもの)を組み合わせる中で、釘の長さや形も考えるようになってきた子ども達。まっすぐな丸釘だけでなく、コの字型のものも準備すると、試しながら、失敗もしながら、工夫して打つようになりました。曲がってしまった釘を釘抜きで抜く…ことも経験しました！

1人でつくるのが難しい時に「センセー！アッダア〜」とSOSを出していた子ども達でしたが、次第に友達同士で押さえたり、釘打ちのお助けマンになって力を貸したりする姿も見られましたよ。困った時に頼れる仲間がいる…友達の力もとても大きいですね♡「ありがとう！」と声をかけ合い、笑い合う姿に何れもほっこりした(抱)です。

金槌をはじめ、木工遊びで使う道具はすべて本物！危険も伴いますが扱い方、使い方に関してはしっかり話を聞き、気をつけていく姿がありました。熱い余って痛い思いをした子どもも、次からは慎重に、考えながら使う様子も!!安全に使う使い方を考えられるのは、さすが!年長です。

子ども達の頑張りがあった木工製作は造形展でお家の皆さんにも紹介します。ホールに力作が並びますのでどうぞお楽しみに!

